

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	PARCひがしおおさか		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育	個別にスタッフとのやりとりの練習を行ったり、身体の使い方での苦しさがあった場合に専門職が分析や支援方法の検討を行っています。また言語面で気になる方には言語聴覚士が一人一人に合ったトレーニングを検討し、実施しています。スタッフ間での共有を徹底し、継続的な療育を行っています。	よりお子さまが楽しく苦手なことに挑戦できるかを、スタッフ間で連携し検討します。また、小集団で個別療育の様子と集団での様子をどちらも観察し支援できるよう考えていきます。
2	ペアレントトレーニング	保護者の方にも様子を見ていただき、まずはお子さまの行動を理解していただき、ほめ方や指示の出し方などをスタッフの関わり方を見て参考にさせていただいています。また、不適切な行動への対応のヒントを見つけてもらえるように、見本となる療育を行っており、保護者の方からの悩み事やお困り事を聞いて、療育内で取り組めることを検討しています。	家庭環境を考えながら、ご自宅で取り入れやすい内容をご提案できるようにし、お子さまの発達促進や育児のお悩みが解決するように努めます。
3	保育士・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士が在籍している	担当制ではなく各専門職による様々な視点からお子さまを見ることで全般的に評価でき、またお子様の特性に見合った職種が中心に入るように工夫することで個別性を高めた療育を実施しています。各スタッフ間の情報共有・連携を大切にしています。	スタッフ一人一人のスキルアップを図り、スタッフによる対応の差が出来る限り少なくなるように努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がない	親子療育による個別での対応に満足していただいているご意見をたくさんいただいたことは嬉しく思っています。しかし、送迎がなく保護者の方が一緒に来ていただくことに負担を感じられる保護者の方もいらっしゃると感じております。また兄弟児の体調不良でも保護者の方が来られなくなるため欠席になってしまうこともあります。	送迎に関しては、現在対応は難しいと考えておりますが、家族様の負担を減らすためにも、来所後に少し預かるような方法やご家族の負担が減るような方法を検討してまいります。
2	決まったカリキュラムがない	お子さまのやりたいことの中に苦手な活動を取り入れていくという療育を行っていますが、保護者の方に支援の内容が伝わりづらいことがあります。	保護者の方への説明の徹底を行い、お子さまについているスタッフと、保護者の方とお話しているスタッフの連携をはかり、“今はどのようなねらいがあるのか”を説明し、理解していただきます。
3	スタッフの入れ替わりがあった	スタッフの入れ替わりに伴い、保護者の方への不安や、お子さまにも変化を感じさせてしまうことがありました。	今までのスタッフが居なくなり、新しいスタッフが多くなってしまふと不安にさせてしまうことがあったかと思えます。スタッフが働きやすい環境を作ることはもちろん、新人スタッフへの教育や引継ぎを徹底し、安心していただけるよう対応いたします。